

くつろぎタイム

好きなドライブで リフレッシュ。 NPO活動も大切な ライフワークになっています。

株式会社タゼン
代表取締役社長
仙台商工会議所 常議員・2号議員
卸売商業部会長

たなか ぜんいち
田中 善一 氏
昭和29年7月29日生まれ
仙台市出身
血液型B型



昭和51年3月、東北学院大学経済学部商学科を卒業後、東京のシステムキッチン・バス等製造の会社に就職。3年後、仙台に戻り株式会社タゼンに入社。創業40周年を迎えた1996年に、父の後を継いで社長に就任。「一度、仙台を離れてみたいと思いましたが、大学受験で東京を目指したのですが、地元で仕事をすることに決まったときは、ちよつとうれしかったですね」と笑う。大切にしている言葉は、同社の企業理念でもある『使う身になってやり抜こう！』。「思いやりの心をもって物事に向き合い、日々、仕事をしています」と話す。

お休みの日はどのように過ごしていますか。

家内と一緒に、食料品や日用雑貨などの買い物に出かけます。買い物が好きというよりは、車の運転が好きなので、出かけるのは苦ではありません。

それから、ライフワークとして家族でNPO活動に参加しています。ですから、休みの日もそれに費やすことが多くなるといった状況です。

活動を始めたのは15年ほど前。活動の拠点は静岡県の島田市川根町と伊豆の大島で、川根町では、青年団やUターン・Iターンを含めた地元を愛する青年有志が一生懸命、地域おこしに取り組んでいて、毎週末、さまざまなイベントを行っているんです。

す。携帯電話もつながりにくいような山奥にある街なのですが、少しでも役に立てればと思い、家族でその活動に参加しています。ありがたいことに、この活動に参加することは会社の人々にも理解してもらっていて、1週間ほど会社を空けることもあり。静岡のような遠方でも、自分で車を運転して行くんですよ。

車の運転は、どんなところが魅力なのでしょうか。

自分の好きなところに、思い立った時に行くことができるということでしょうか。車に乗った途端、自由になるわけです。近場の買い物から遠くの温泉まで、どこへでも好きな時に行けるのが、最大の魅力だと思います。

リフレッシュといえば、孫たちと一緒に過ごす時間も、かけがえのないひとときです。昨年末に3人目の孫が生まれました、ますますにぎやかになりました。孫たちの成長を見守るのも、大きな生きがいであり、楽しみの一つです。

旅行もお好きと伺いましたが。

国内なら、車で思い立ったときに出かけられますが、海外旅行となると、なかなか時間が取れませんので、簡単には行けないというのが現実です。もし時間が取れば行ってみたい

いと思っているのがグアムのロタ島です。父が毎年、ゴルフの好きな方々と一緒にゴルフ旅行に行っていたところ、私も一度だけ行ったことがあるのですが、その時は残念ながら一泊だけしかできませんでした。ですから、機会があれば、また行ってみたいと思っています。

健康面で気をつけていることはありますか。

以前、娘と一緒にランニングをしていたことがあります。ただ、だんだん仕事が忙しい時期にさしかかり、1カ月くらいで辞めてしまいました。それからは、これといった運動はしていません。

食事に限っては、活動に参加しているNPOが「持続可能な共生社会」を目指していることもありまして、農業でも、自然循環農法を取り入れている方々に出掛けて行っているようです。また、NPO活動の中で出会ったのですが、伊豆の大島に昔から塩を手づくりしている方がいらつしゃいまして、手作りのものはミネラルを含んでいるからということ、塩はいつもそちらからいただいています。

こうしたことで、自然の中で大切につくられた食材に興味を持つようになり、我が家の食卓にも、なるべく自然に育てられたものを並べて食べようということになりました。ご飯は玄米で、野菜中心の食生活を

実践しています。私は外食も多いので、全ての食事をそうしているわけではなく、家内と娘がつくってくれた食事をおいしくいただきます。

お仕事の近況を教えてください。

おかげさまで、弊社は創業420周年を迎えまして、この節目に考えているのが「祖業の復活」です。当社の初代、善蔵は慶長元年に伊達政宗公により、銅師として召し抱えられた銅職人でした。ですから、これまでの業務と並行して力を入れていきたいと考えています。実は長男が銅職人としての技を磨いていまして、また、若い人たちの集まりの中で経営に関することも勉強していますので、息子も加わった新体制づくりを行っていききたいと思っています。

昨年11月に、当所、卸売商業部会の部会長に就任されました。今後の抱負をお聞かせください。

今、さまざまな業界が過渡期を迎えていると思います。企業自体も、これまでの企業のあり方から一人一人の働き方に至るまで、あらゆることが変わっていくと思っています。このようなさまざまな変化を、良い結果をもたらす方向に持っていかなければならないと思っています。その時に大切になるのが、多様性を認めるダイバーシティの考え方であると思います。卸売業も例に漏れずといったところで、卸売商業部会におきましても、さまざまな考え方があつて、物事がより良い方向に進むように、部会メンバーの皆さんの意見に耳を傾け、また、よく話し合える環境をつくっていききたいと思っています。



平成26年、アメリカとカナダの知人に会いに、奥さまとワシントンD.C.へ旅行に行かれた際の1枚。現地での会話はタブレットで翻訳しながらの旅だったとのこと。

やがて生まれ来る子供たちのために。

宇宙のオアシス『地球』。ただひとつの、この青い星を守って行かなくてはなりません。大切な人のために、そしてやがて生まれ来る子供たちのために。私たちは、よりよい環境をめざし、考えつづけます。



より良い環境をめざす
AOBA 青葉環境保全

本社/仙台市若林区蒲町19-1 電話(022)286-3161(代)